鹿屋市の補助制度を活用して

太陽光発電設備と蓄電池でおトクに、安心・快適な暮らしへ！

脱炭素重点対策実施地域 鹿児島県鹿屋市

脱炭素社会の実現に向けて、
太陽光発電設備と蓄電池の
設置費用の一部を補助します！



補助金最大 114.6 万円

太陽光発電設備 + 蓄電池の設置の場合

交付申請期限

~~令和８年11月16日(月)~~

予算がなくなり次第終了！ 先着順

令和８年**12月4日(金)**まで延長！！

太陽光発電設備	
補助額	7 万円 / kW
上　限	9 kW（63万円）

蓄電池	
補助額	対象経費の 1/3
上　限	10 kWh相当分（51.6万円）

STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4	STEP 5
事前準備	交付申請	交付決定	実績報告	請求書提出
申請書類を揃える（見積書など）	市役所へ書類提出	交付決定後に契約・工事着工→完成	市役所へ書類提出	補助金の受け取り

お問い合わせ先：鹿屋市 環境政策課
〒893-8501 鹿屋市共栄町20-1 ☎：0994-31-1115

詳細は
市ホームページを
ご確認ください！

対象となる方

既存住宅 鹿屋市内に住宅を所有し、居住している方

新築住宅 自ら所有し居住するために、鹿屋市内で住宅を新築・購入する方
（実績報告書の提出時に、当該住宅の場所に住所を有すること）

※国、県もしくは本市から同様の補助金等を受ける見込み、又は既に受けた場合は対象外

太陽光発電設備の補助額・要件

補助金の額

出力（kW）×7万円

※ 出力（kW）は、太陽光パネル公称最大出力の合計値又はパワーコンディショナー定格出力の合計値のいずれか低い方（小数点以下切り捨て）。

※ 太陽光発電設備の価格が、「出力（kW）×7万円」の額に満たない場合は、太陽光発電設備の価格を限度とする（千円未満の端数は切り捨て）。

主な要件

○ 個人の住宅の屋根（車庫・カーポート等を含む）に設置するものであること。
○ FIT制度又はFIP制度の認定を取得しない設備であること。
○ 太陽光パネルの公称最大出力の合計値又はパワーコンディショナーの定格出力の合計値のいずれか低い値（kW表示の小数点以下切捨）が10kW未満の設備であること。
○ 中古設備でないこと。
○ 既存設備の置換や増設でないこと（既存設備が全量売電設備である場合は、これに当たらない）。
○ 法定耐用年数を経過するまでの間、J－クレジット制度への登録を行わないこと。
○ 発電した電力量の30%以上を自家消費すること。

蓄電池の補助額・要件

補助金の額

蓄電池の価格（工事費込み、税抜き）×1/3（千円未満の端数切り捨て）

※ 蓄電容量（定格容量）が10kWhを超えるときは、10kWhを上限として補助対象とする。
… 1kWhあたりの価格×10kWh×1/3



主な要件

○ 太陽光発電設備の附帯設備であること（蓄電池単体の導入は補助対象外）。
○ 蓄電容量が20kWh以下の設備であること。
○ 1kWhあたりの価格が15.5万円以下のものであること。
ただし、複数の設備・施工業者を比較検討のうえ、1 kWh あたりの価格が12.5万円以下となるよう努めること（12.5万円/kWh以下での導入が困難な場合に限り、上限を15.5万円/kWhとする）。
○ 定置用の設備であること。
○ 中古設備でないこと。
○ 既存設備の置換や増設でないこと。

※詳細は市ホームページをご確認ください。

太陽光は“売電”ではなく“自家消費”の時代です！

（最初の4年間売価24円/kWh
5年目～10年目売価8.3円/kWh
10年目以降売価8.0円/kWh）

FITの場合

● 15年間の総経済効果（※）
オール電化 ： 約 280万円
ガス併用 ： 約 198万円

（※）電気代削減効果＋売電収入
電気代上昇率２％

＜

非FITの場合

● 15年間の総経済効果（※）
オール電化 ： 約 279万円
ガス併用 ： 約 184万円

＋

補助金

● 約 80万円
（7万円/kW×5kW＝35万円
蓄電池価格×1/3＝約45万円）

非FIT＋補助金がお得！

出典：国際航業「エネがえる」及びそれに基づく環境省近畿地方環境事務所試算（R6.11時点）
※上記は一定の条件に基づく試算であり、実際の経済効果を保証するものではありません。
電気の使用状況、電気料金、売電価格等により、実際の効果は異なります。

▶発行元
鹿屋市 市民生活部 環境政策課
〒893-8501 鹿屋市共栄町20番1号
TEL：0994-31-1115
E-Mail：kankyou@city.kanoya.lg.jp

▶販売店等活用欄